

令和6年度健康づくり推進部会〔地域・職域連携推進協議会〕報告

【委員構成】

- 職域保健関係機関5名（須崎労働基準監督署、全国健康保険協会高知支部、須崎地域産業保健センター、須崎商工会議所、土佐くろしお農業協同組合）
- 保健医療関係団体4名（高岡郡医師会、高知県薬剤師会高陵支部、くぼかわ病院、高知県歯科衛生士会西部支部）
- 住民代表2名（管内健康づくり婦人会連合会長、NPO 法人くぼかわスポーツクラブ会長）
- 地域保健関係機関5市町（須崎市、中土佐町、梶原町、津野町、四万十町）

【開催状況】

- 第1回（7月 24日）：令和6年度の活動計画(案)について、壮年期の健康づくりへのアプローチ方法について
- 第2回（1月 29日）：令和6年度の活動報告について、令和7年度の取組について

【協議内容】

		各委員からの活動報告・ご意見		成果及び課題	令和7年度の取組の方向性
健康寿命の延伸に向けた意識醸成と行動変容の促進	生活習慣病予防に向けたポピュレーションアプローチの強化	がん検診・特定健診・特定保健指導	（職域保健関係） ・須崎労働基準監督署管内の定期健康診断の有所見率は、全国、高知県と比較して高い水準にある。 ・事業所訪問により、特定保健指導実施率の向上や健康経営の推進について啓発。 ・健診結果から就労不可になった職員の出来事をきっかけに、健康でなければ仕事ができないという考えのもと、保健指導の対象となった職員には、役員名で受診勧奨の手紙を出している。今年度も保健指導対象者全員が指導を受けた。 （地域保健関係） ・特定健診とがん検診の WEB 予約を開始。予約件数は特定健診7名、女性がん検診9名であったが、今まで受けてこなかった若い世代や女性の受診につながり効果がみられた。（須崎市）	【成果】 ・事業所訪問をきっかけに保健指導の受け入れにつながった事業所があった。 ・健康パスポートアプリイベントの参加により、若年層の血圧測定の習慣化など健康意識向上につながった。 ・健康経営を啓発するため、管内事業所の取組好事例等を紹介したリーフレットを作成し、職域関係者が参加する会議等で活用できた。 【課題】 ・健診を受けただけではなく、健診結果に応じて病院受診や具体的な生活習慣の行動変容に繋げることが必要。 ・保健指導対象者全員に受けさせている事業所がある一方、本人が希望しないからそれ以上の勧奨はしないという事業所も多くあり、保健指導の必要性の周知や事業所の健康経営の理解の促進が必要。 ・市町の健診では、歯科指導が実施されているが、事業所健診での実施は少ないことから、事業所に歯周病予防の重要性や全身疾患との関連性などを啓発し、定期歯科健診の受診につなげることが必要。 ・管内で事業所版健康パスポートアプリのアカウントを取得している事業所は少ないことから、事業所訪問や各種説明会等を活用して、啓発していくことが必要。	【生活習慣病予防に向けたポピュレーションアプローチの強化】 1 生活習慣病予防の行動変容につながる取組の促進 ・ケーブルテレビ等を活用し、地域ごとの生活習慣の課題をデータで提示し、生活習慣改善に向けた取組を広く住民に情報発信することで行動変容を促す 2 地域と職域が連携した健康づくりの取組 ・健康イベント等で健康づくり団体や関係機関と連携し、健康課題と対策について、住民に向けて周知 ・地域の健康づくり講座・イベント等を事業所に周知し参加に繋げる 3 事業所での主体的な健康づくり(健康経営)の取組 ・事業所版健康パスポートアプリを活用した従業員の健康づくりを推進 ・商工会議所・商工会との連携により、総会などの機会を捉えて、健康経営について周知。また、今年度作成した健康経営取組事例啓発リーフレットを活用し、好事例を他事業所にも展開する ・事業所(企業)訪問により、事業所(企業)が主体的に健康づくりに取り組めるよう連携
	血管病重症化予防対策の推進	高血圧予防	（地域保健関係） ・生活習慣病を予防するために、ヘルスメイトと協働し、減塩と野菜摂取をテーマに健診会場や量販店で啓発。健診会場で日ごろよく見かける食品を並べて、その食品に含まれる食塩量を展示。干物や練り製品への食塩量に驚きの声が見られた。（中土佐町） ・推定塩分摂取量データの分析を実施。男女ともに減少傾向ではあるが、男女を比較すると令和6年度を除きすべての年度で男性より女性の塩分摂取量が多い。（津野町）	【成果】 ・高血圧予防を推進するため、健診会場や量販店で「減塩」等の啓発を実施し、幅広い世代の意識向上につながった。 ・糖尿病対策検討会の開催により、課題整理と連携した取組の必要性が共有できた。 ・糖尿病アドバイザー派遣事業の広域実施により、具体的な取組内容について共有できた。 【課題】 ・住民が正しい知識を持って行動変容できる支援が必要。 ・糖尿病性腎症重症化予防プログラム活用に向けた、保険者と医療機関(主治医)との連携強化や必要に応じて専門医療機関へのつながが必要。	【血管病重症化予防対策の推進】 1 特定健診受診率・特定保健指導実施率の向上対策の取組 ・具体的な受診勧奨等について共有・連携していく 2 高知県糖尿病性腎症重症化予防の取組 ・糖尿病対策検討会の開催と医療機関や市町を対象として研修会の開催 3 循環器病対策(高血圧・たばこ対策)の取組 ・事業所での受動喫煙防止対策を強化するため、引き続き改正健康増進法について周知
		糖尿病予防	（保健医療関係） ・院内面談者の腎機能推移について、資料を用いて報告。夏場、水分摂取が不足していると eGFR の値が低下するので脱水を予防することが大切。 ・血糖値については、患者自身が検査値をみて、食べ過ぎたから値が上がっているなど自己マネジメント評価ができるようにサポートする。 ・腎機能の低下により、何か病気になったときや検査をするときに使用できる薬の制限があるなど、ハンディキャップとなる。 ・糖尿病を診療していく中で一番難しいのはエネルギー制限。コントロールができない人は食事制限ができていない。栄養指導を行っても本人のやる気が必要。コンビニのお弁当にエネルギー表示の記載があるのでそれを見て勉強するように伝えている。		

